

東京地下鐵道の 上野ストアと 神田驛出入口通路

上野地下鐵ストア概要

位置 東京市下谷區車坂町十二番地
敷地 528,835 平方米
建坪 總延坪 4,648,269 平方米で、建坪は地下部 519,854 平方米、地上 418,867 平方米である。
階數 地下 2 階、地上 9 階、外にペントハウスがある。
高さ 最高ペントハウス上端まで 35 米、9 階の軒まで 30.3 米、地下は地盤面下 6.35 米
意匠 は須田町其他地下鐵に於て將來建設すべき諸所の建物に應用し、一見して地下鐵の建物であることを判然ならしめると云ふ條件のもとに懸賞募集し、一等當選の大林組設計部山田昭氏の案を基準として、地下鐵建築部に於て設計した。特徴とする處は正面の垂直な柱と、横にはいつてるタイルの色別等である。(寫眞参照)

用途 地下二階及地上五階までは大體デパートメントストアとして使用する。六七階は食堂は八階は食堂附屬の調理室、九階は従事員脱衣場洗面場等に充てゝある。

地下室は地下鐵上野停車場に連絡し、上野停車場は省線上野新驛と地下道で連絡してゐる。

建築費 約 220,000 圓。

附帶設備 は本建築の得意とする處で、調理室は全部電熱器を使用、冷蔵装置は各ショウケース毎にせず、第二地下室に冷却装置を設備し、こゝよりパイプにてブラインを各室の必要なるショウケースに通す。八階に冷蔵倉庫がある。

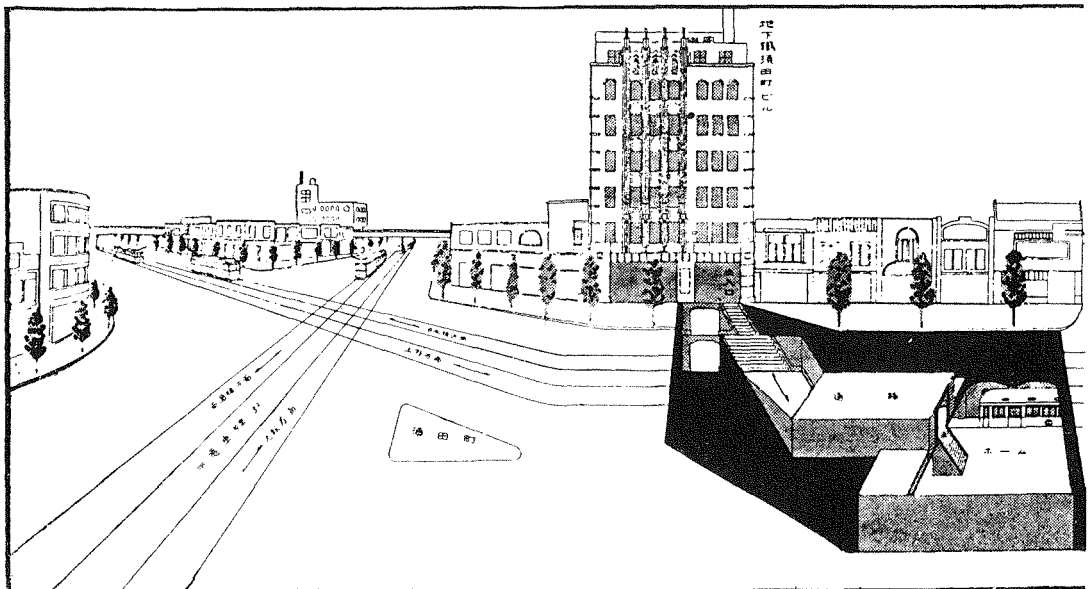
請負 大林組

總工費 390,000 圓。

工期 昭和五年十一月三十日起工、同六年十一月二十日竣功、十二月一日開店。

附記 本建築に就て特に附記すべきは正面に取付けられた大時計である。これは早稻田大學の川原田博士の發案によるもので、大きさに於て世界第一であると共にその考案も最初のものである。文字盤の直徑が 20 米、秒針の長 8.4 米、分針の長 7.6 米、時針の長 6 米で、秒針は重さ 338 斤、機械全體の重さが 5080 斤ある。これを川原田博士考案の一秒間 1,500 回轉の五馬力 O. Y. K 誘導起動 期電動機で回轉せしめるのである。時計の製作は大塚工場である。

東京地下鐵道神田驛及出入口通路鳥瞰圖



上野の地下鐵ストア正面と世界一の大時計

